

久之浜防災緑地ワークショップ

かわらばん 第4号

平成 25 年 7 月 13 日(土)に、久之浜第一小学校 体育館にて「第4回久之浜地区防災緑地ワークショップ」が開催され、11名の地域の方が参加され、20名の方が傍聴されました。

最終回となる今回のテーマは「防災緑地の設計ベース案を確認しよう」でした。まず、久之浜第一小学校の子どもたちが総合学習「防災緑地について考えよう」の成果を発表しました。その後、生物多様性の重要性や津波シミュレーション結果についての説明がありました。これらを受け、これまでの意見を集約した設計ベース案を確認し、地域で防災緑地を大切にしていけるための方法について、課題や活動案などを話し合いました。計画内容について話し合うワークショップ最終回に、地域に愛される防災緑地を創出するための第1歩を踏み出す内容となりました。

当日の流れ

①久之浜第一小学校の子どもたちの発表



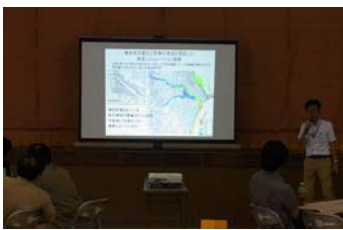
久之浜第一小学校の子どもたちが、総合学習で行った「防災緑地について考えよう」の成果を発表しました。子どもたちは「防災」・「活性化」・「久之浜の良さを活かす」の3グループに分かれて話し合いを行っており、大人顔負けの考え方や子どもらしい自由な発想に、出席された皆さん全員が感心していました。久之浜を明るく楽しく災害に強いまちにしたいという思いがとてもよく伝わった発表でした。子どもたちの主な意見については右頁で紹介します。

②情報提供-1



東北芸術工科大学の廣瀬先生より「生物多様性について考える」と題した講話がありました。私たち人間は水と生物の巡りによって生かされていること、そしてその生物が織りなす生態系は遺伝子レベルで守っていく必要があることなどを学びました。防災緑地では、防災機能を早期に満足する植栽と、生物多様性の保全に留意した植栽の両方が求められるとの説明があり、地域内や外部の専門家の方などと協力して防災緑地をつくり育てていくことの重要性を再認識しました。

③情報提供-2






これまでのワークショップで参加者から質問のあった津波シミュレーションの結果について、県より説明がありました。東日本大震災と同等の津波が発生した場合、防災緑地の整備後は津波緩衝帯が津波の遡上を和らげることなどから市街地は浸水しない結果となっています。また、海岸堤防の形状よりも周囲の地形や海底の形状が津波の高さに影響するとの説明があり、皆さん真剣に話を聞いていました。

④意見交換



3つのグループに分かれ、設計ベース案を確認し、地域と防災緑地の関わり方について活動案や地元の組織・小学校との連携など具体的な意見が出されました。設計ベース案では子どもから高齢者まで多世代の交流の場づくり、関わり方では継続的に地域で防災緑地を育てていくことが重要との意見が多く出されました。最後に各グループ代表者が発表を行い、アドバイザーの先生方の他、これまでワークショップを支えてくださった方々からもお言葉を頂きました。

久之浜第一小学校の子どもたちの主な意見と発表の様子

防災グループ	活性化グループ	久之浜の良さを活かすグループ
高木と中木をジグザグに植える、波の様子が見えるよう樹木の間隔を空ける、耐潮性のある樹木、木登りで遊ぶ、市役所・中学校に非常食、看板・チラシ・回覧板で地域の人に避難場所を周知、地下に平らで歩きやすい避難路、強く高い陰磯橋、海の映像を駅や市役所で映す等	交流の場となる噴水広場、環境に優しい展望台カフェ、景色を楽しむ遊歩道とベンチ、起伏を利用したローラーすべり台、寝転んで花火を見れる芝生の広場、花や夜のライトアップによる避難経路の明示、ゆるキャラ「ひさのはマリン」等	大久川の近くは高齢者の憩いの広場、まちの中心部は大人と子どもが集まる公園・海水浴・バーベキュー場、久之浜第一幼稚園の跡地はプール・動物とのふれあいコーナー、全体的にまちの情報を伝える、海にちなんだ特産品、夜の散歩等
		

各グループの主な意見と、意見交換・全体発表の様子

Aグループ	Bグループ	Cグループ
<p>【設計ベース案】継続して話し合いながら作っていく場を設ける、植栽の内容は今後も検討が必要、市民と行政のパートナーシップが重要、見通し確保、監視カメラの設置 等</p> <p>【地域と防災緑地の関わり方】苗は市民が記念植樹、維持管理の仕事量が見えない、労力・金銭・技術のバックアップが必要、住民のモチベーションを高める仕掛け 等</p>	<p>【設計ベース案】ゲートボール場付近にトイレは必要、樹木の苗を育てる場所をつくる等</p> <p>【地域と防災緑地の関わり方】季節毎のイベント時に清掃、樹木の状況を記録、管理メニュー・工程を話し合う場が必要、防災緑地内に花の苗を育てる区画を確保、地域の取組と連携して花と灯りで示す避難路を具体化 等</p>	<p>【設計ベース案】3号緑地は2号緑地の補助として高齢者と子どもと一緒に利用、4号緑地に防災仮設トイレを設置して避難訓練に使用、自然観察の場、農業体験の場 等</p> <p>【地域と防災緑地の関わり方】子どもたちと苗を育てて植える、地域毎に人数や高齢化率が異なるため地域毎の分担は難しい 等</p>
		
		
		

【事務局より】

4回にわたるワークショップにご参加いただいた皆様、ありがとうございました！
防災緑地の整備はこれからがスタートです。
地域に愛される緑地とするため、
今後も地域の方と共に取り組んでいきますので、
よろしくお願いします。

【お問い合わせ先】

福島県いわき建設事務所
担当：橋本、菅野
電話番号：0246-35-6075



■久之浜地区での防災緑地ワークショップについて④

本ワークショップは、福島県いわき建設事務所が、久之浜地区の防災緑地整備にあたり、上位計画等との整合のほか、地域の方々の考えや思いを設計に反映させていくために、全4回の内容で開催してきました。今回は計画内容を話し合う最終回のワークショップとなりました。これまでに参加された皆様のご意見を精一杯反映させ、防災緑地の整備事業を進めていきます。

第4回ワークショップで提示された防災緑地の設計ベース案とその考え方は以下のとおりです。このベース案に第4回の意見交換の内容を加味し、詳細設計へと反映させていきます。

久之浜地区防災緑地設計ベース案



久之浜地区防災緑地設計ベース案の内容説明

緑地	整備テーマ	整備方針	整備内容(主な施設・機能)	理念(テーマ)
連携ゾーン	—	—	<ul style="list-style-type: none"> まち全体での利用と管理を考慮し、避難拠点施設(津波避難ビル)や商業街区内に整備されるトイレ利用 避難路やまちの道路に直結したエントランスと散策路(園路) まち全体で適正な設置位置を検討する防災スピーカー 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑ ☑
共通	全体	適正な施設配置	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全のための施設を適正な位置に整備する 盛土天端及び樹林内、防潮堤側への散策路(園路)の設置 照明灯、足元灯 避難路案内マップ 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑
みんなの交流ゾーン	1号	憩いの小広場	<ul style="list-style-type: none"> 久之浜港へ向かう道沿いの休憩スポット 東屋、ベンチ、幼児用遊具を設置 背後の裏山と一体的な植栽 港や海をイメージする施設デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑
	2号	健康づくり広場	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を中心としたさまざまな軽スポーツの場 盛土部に地域らしい樹種による樹林 木陰となる高木植栽 遊水機能のための広がりある空間を生かした広場空間 ベンチ、東屋を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑
	3号	子どもの学びの広場	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの環境学習のための空間とする コンパクトな敷地を生かした子どもたちのための緑地空間 小学校に一番近い緑地であることを生かし、主に小学校と連携して児童が日常的に利用する環境学習のための場 地域の植生 観察用の散策路を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑
	4号	久之浜集いの広場	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑に囲まれた空間で人々が自由に集い交流する場とする 芝生の交流と憩いの広場 2号緑地と連携し、にぎわいを創出するイベント広場 デイキャンプ(バーベキュー)、イベント時の臨時駐車場などに利用できる多目的広場 親子や子供がフットサルやボール遊びのできる芝生広場 お花見が楽しめる地域らしい花木植栽 木陰になる高木植栽 東屋、ベンチを設置 津波の高さが分かるボール 港や海をイメージする施設デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑ ☑
記憶の伝承ゾーン	5号(北)	記憶の伝承広場	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉神社を核とした樹林 まち側に地域らしい樹種による樹林 秋葉神社に海に向かって新たな参道の設置 神社周辺の街区道路沿いの「メモリアル広場」に、慰霊碑、震災の記録を刻むモニュメントなどの施設を、久之浜らしいデザインにより設置(手作りの絵陶板、モニュメント、展示、舗装など) 広場部に津波の高さが分かるボールを設置 天端の散策路(園路) 緑地内散策路(園路)と海とつながる散策路(園路) 管理用通路を利用した自転車道 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑ ☑
海辺の憩いゾーン	5号(南)	潮騒の遊歩道	<ul style="list-style-type: none"> 海側にクロマツを中心とした樹林 まち側に地域らしい樹種による樹林 久之浜第一幼稚園跡地の「憩いで広場」に、子供たちの幼稚園での思い出を残すメモリアルな施設を設置(手作りの絵陶板、モニュメントなど) 広場部に津波の高さが分かるボールを設置 天端の散策路(園路) 緑地内散策路(園路)と海とつながる散策路(園路) 管理用通路を利用した自転車道 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ☑ ☑

★毎回ワークショップの終了後に発行していた「久之浜防災緑地かわらばん」も最終号となりました。今後も地域に愛される久之浜地区防災緑地の整備に向けて、ご協力をよろしくお願いいたします!!!